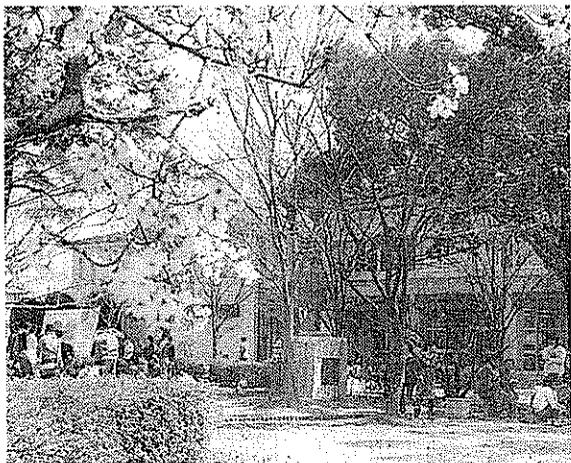


新入生でにぎわう本庄キャンパス学生会館前広場



佐賀大学

きょう四月八日、千八百七十
三人が佐賀大学の入学式を迎え
る。
入学式のステージには佐賀大
学の学旗が掲揚される。平成十
五年十月に佐賀大学と佐賀医科
大学が統合して、新生の佐賀大
学が誕生した。それを機に新し
い学章や学歌も誕生したのであ
る。

学章は一般公募したがふさわ
しいものがなく、当時の文化教
育学部的美術・工芸課程の荒木
博申助教が中心になって制作
した。学章は一般公募したがふさわ
しいものがなく、当時の文化教
育学部的美術・工芸課程の荒木
博申助教が中心になって制作
した。

入学式では佐賀
大学管弦楽団の演
奏で、佐賀大学コ
ーロカンフォラ
による学歌も歌
われる。

佐賀大学の鳥でもあるカ
ササギと篆書体で「佐賀大学」
そして佐賀大学の英文表記を組
み合わせたもの。カササギの尾
は角度に応じて金属光沢のある
緑・青・紫に輝き、佐賀の青い
空と佐賀平野の緑を組み合わせ
ている。青紫と青緑はスクール
カラーでもある。

入学式 学章、学歌に親しむ

保岡直樹さん、作曲は佐賀大学
の橋本正昭教授による。当日は
橋本先生の指揮で演奏される。
学歌は、三番まであるが一番
には「空へはばたくカササギは
学章(しるし)なり」とあり、
二番は曲調がゆったりとなっ
て、「佐賀の大学」にふさわし
く「恵み豊かな有明に拓く平野
の佐賀平野 この地を要と備の
葉に歴史と文化の風薫る」と歌
われる。

私は三月に行われた学位記授
与式で初めて聞いたが、格調高
く簡単に口ずさむにはむづかし
かった。高等学校の校歌は卒業
して四十年たつが、不思議にす
ぐ歌える。佐賀大学の学歌も何
度も歌う機会があれば新しい学
生たちにもなじんでいくたろ
う。

テニスコート横の彼岸桜は既
に葉桜になった。新しい年度を
迎えた佐賀大学。文化教育学部、
経済学部、医学部、理工学部、
農学部、各大学院などで役職員
約千七百二十人、学生約七千五
百人など総勢九千二百二十余人
りでスタートする。

(佐賀大学理事・北嶋悦子)
※次回は四月二十二日の予定
です。